

入居企業紹介 その156

SICに入居されている企業様をご紹介します。

>>> Desk10 | IAC

「“アニマルコミュニケーション”で、人と人、人と動物とがつながりあう社会へ」



【代表プロフィール】

国際アニマルコミュニケーションスクール
 (IAC : The International Institute of Animal Communication)
 代表 渡辺 幸子(わたなべ さちこ)
 相模原市出身・在住

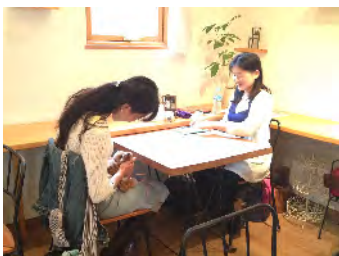
【創業の経緯は?】

英語コミュニケーションの中で“相手に通じた瞬間”に喜びを感じ日本語教師となった経験や、アメリカの大自然の中で一人キャンプし“自然や動物たちとのつながり”を感じた経験が原体験となって、人と動物とをつなぐ「アニマルコミュニケーション」の世界に出会った渡辺さん。2015年から、会社勤めの傍らアニマルコミュニケーターを養成する「国際アニマルコミュニケーションスクール(以下、IAC)」の運営に関わり、今春から本格的に講座の企画にも携わることになり独立。SICには本年6月より、Desk10に入会されています。

現在はスクール2期生へのフォローアップに取り組みながら、第3期の企画・募集を見据えて、そのための組織づくりや事業基盤の構築を図るべく、日々起業家としての歩みを進めています。

【事業紹介】

アニマルコミュニケーションとは、広義では「動物の仕草や鳴き声、目つきなどからその気持ちを察し、言葉がけやジェスチャーを通じて動物たちと互いに思いを伝えあっていくこと」ですが、渡辺さんはそれに加えて、五感に頼らない方法で意思疎通を図り、人と動物との絆をさらに深めていくことを目指した活動を続けています。



都内での動物関連イベント
対面個人セッション

IACでは、アニマルコミュニケーターの資格・認定制度を創設し、養成スクールを開催・運営していくことに焦点を当てています。その背景には、アニマルコミュニケーション自体の認知度がまだ低く、コミュニケーターの一定水準やガイドラインが確立されていないために、誰でも簡単にプロを自称できてしまうという現状があります。そこで渡辺さんは、スキルと倫理観、そして信頼性を兼ね備えたコミュニケーター養成を通じて、この状況を変えていきたいと考えています。

具体的には、初心者向けに2日間で受講できる基礎講座や、1年半程度かけて本格的に学んでいくプロ養成コースなど、段階に応じた複数のコースを設けています。特に、プロ養成コースでは、渡辺さん自身が専任講師を務めながら、特別講師としてプロコミュニケーターのパイオニア的存在であるアメリカのキャロル・ガーニー氏を講師に迎えています。課題の提出や最終審査などもあり、受講生にとっては決して楽に取得できる資格ではありませんが、だからこそ信頼できる人材を輩出していく仕組みとして多くの関心を集めています。



ハワイでのワークショップ
参加時、会場で出会った犬
とのコミュニケーション

【これからの夢または目標は?】

アニマルコミュニケーションの普及は、ペットショップやブリーダーをはじめとするペット業界を変えていくだけのインパクトを持っていますが、何よりも飼い主である人の価値観や人生も変えていけるほどの可能性を秘めています。

渡辺さんは、アニマルコミュニケーションを広め、人と動物の絆を深める“アニマルコミュニケーター”を育てていくことで、人も人以外の生き物にとっても、より生きやすい環境づくりに貢献していきたいと考えています。そんな社会を目指して、動物やその飼い主、そしてコミュニケーターを目指す方々と向き合っています。

【取材を通じて】

以前はよく登山に行っていたという渡辺さん。最近はあまり行くことができないそうですが、動物だけでなく、自然とのふれあいも昔から好きだったようです。取材を通じて、人や動物の“心”を繊細に感じ取り、互いを尊重し合える関係づくりができる渡辺さんだからこそ、「アニマルコミュニケーション」を広めていくことができるように感じられました。(SIC 樽川)

国際アニマルコミュニケーションスクール
 (IAC : The International Institute of Animal Communication)
 Desk10
 URL : <https://www.iiac.jp/>
 E-mail : info@iiac.jp

お知らせ

SIC-2 増築工事に伴う

停電・断水等について
ご協力ありがとうございました。

日ごろより当センターの運営にご協力とご理解をいただき、ありがとうございます。SIC-2 増築工事に伴い、9月24日(月)祝日に行いました館内通線作業、9月29日(土)と30日(日)に行いました電気設備配管切り替え作業及び給排水設備切り替え作業は、無事終了いたしました。電気及び電話、インターネット、エレベータ、給排水等につきまして、皆様にご不便をお掛けいたしました。

お陰様で今回の工事は無事終了致しましたことをご報告申し上げます。ご協力、ありがとうございました。

SIC-2 増築棟は、平成31年7月31日完成予定にて工事を進めております。この進捗状況を SIC ホームページや facebook でご報告してまいりますので、ご覧ください。

○ホームページ(記録) 現在、起工式を掲載しています。



○facebook(気持ちの記録)
現在、SIC-2最後のエントランスの姿を掲載しています。

SIC-2 増築棟完成までのカウントダウン!! を始めます!

平成30年10月1日現在

SIC-2 増築棟完成まで、

303日

「SIC 空き室情報」

SICの空き室情報です。

○セミラボ: 実験、評価、分析などのウェットラボとして、設計、試作など研究開発ラボとして、目的に合わせてご利用いただけます。

増床・移転をご希望の方はご検討ください。

※お問い合わせ先 担当: 大谷・稲垣(SIC-2)

knock! knock!
空き室情報!

SIC 空き室情報 (平成30年10月1日現在) ※お気軽にお問い合わせください。

SIC-2 △セミラボ (50.2㎡) 207号室
※2019年1月以降入居可能

編集後記

超大型台風が過ぎ去りました。皆さんは大丈夫でしたでしょうか。さて、秋真ただ中、これから注意したいのは、秋から冬にかけての季節はうつ病になりやすいと指摘されていることです。夏に比べ日照時間が減少することで「セロトニン」と呼ばれる脳内物質が生産されづらくなり、日照時間の長短が影響する「季節性感情障害(季節性うつ病)」が増えるそうです。予防として、出来るだけ日の光を浴びるようにし、乳酸菌の多い食品を積極的に取り入れると良いそうです。雨の日が多いこの頃、酷暑の夏に嫌った太陽の光が恋しいですね。荻島

ロボット システムインテグレータ 養成講座 2018

Sagamihara Robot
System Integrator Training Program

ロボットシステムインテグレータ
養成講座 2018

第2回目となる今回は、昨年度の内容をベースに受講者意見などを取り入れたものに進化させ、ロボットSlerの広範囲にわたる業務プロセスについて効果的に学べる場をご提供します。

若手エンジニアにじっくり学んでいただき、ロボットSlerとしての底力をアップ出来る超実践型プログラムとなっています。

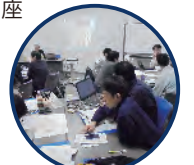
- 日時: 平成30年12月5日(水)~平成31年2月15日(金) 全9回
- 会場: SIC-2 大会議室他
- 対象者: ・ロボットSler(システム・インテグレータ)のノウハウを学びたい若手エンジニアリング
・自動機・FA等の開発エンジニア、またはロボットユーザー企業のエンジニア
- 受講料: 税別70,000円(受講申込後、別途ご案内致します。)
- 募集人数: 16名(1社から2名までの参加可)※先着順

<カリキュラム>

前期(12月5日(水)6日(木)7日(金))
・「戦略的ヒアリング力とプレゼン力」、
・「ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント」講座他



中期(平成31年1月23日(水)24日(木)25日(金))
・「産業用ロボット導入手順」講座-ロボット導入による社内イノベーション-
・「ロボットシステム導入手順(RIPS)」講座
-工程・ドキュメントの標準化について-
・ロボットSlerのための安全講座他



後期(平成31年2月13日(水)14日(木)15日(金))
・公的研究開発プロジェクト提案にあたってのポイント
・最先端画像処理講座
-知能ピッキングロボット革命-
・工場見学
・グループワーク最終発表



各講座は、グループワークを中心に構成しています。参加者同士の新たなネットワークの醸成が期待できるほか、評価の高い提案はユーザー企業に採用される可能性もあります。

ホームページは、近日アップを予定しています。

●お問い合わせ先 担当: 樽川・安藤(SIC-1)